

アゾレス諸島サンミグエル島とテルセイラ島の火山洞窟

The Caving Journal, No. 49: p. 24—31, December 2013

本多 力

NPO 法人火山洞窟学会（東京都）

1. はじめに

前回の調査ではアゾレス諸島のピコ島だけの調査であったが、2013年3月30日（土）から4月3日（水）まで今回はアゾレス諸島のサンミグエル島とテルセイラ島の火山洞窟（溶岩チューブ洞窟と噴火口洞窟）を調査してきたので報告する。マルセイユ 11 時発リスボン着 12 時半、久々のリスボン見学をしてリスボン発 20 時 15 分、サンミグエル島ポンタデルガータ着 21 時半の予定のフライト出発が遅れて、23 時半着であった。今回の目的はサンミグエル島のカルバオ洞窟（Gruta do Carvao）、テルセイラ島のナタル洞窟（Gruta do Natal）とカルバオ噴火口洞窟（Algar do Carvao）の見学調査である。

2. サンミグエル島のカルバオ洞窟

都市部のポンタデルガータ空港近くにあることで有名なサンミグエル島のカルバオ洞窟は洞窟は、一万年前に流れた溶岩流の中にあり、高速道路や都会のど真ん中を貫通している洞窟である。図 1 に洞窟配置図を示す。

測量部分は 1, 2, 3 の 3 部分に分かれているが連続した洞窟とみられている。飛行場と市街部の間にあ

り、1 の部分で高速道路の下を貫通している。写真 1 にポンタデルガータの鳥瞰図を示す。写真 1a および写真 1b に高速道路貫通部と港に近い末端部の拡大図を示す。赤い部分が洞窟のある部分である。



図 1 カルバオ洞窟の配置図（洞窟パンフレットより）



写真 1a 高速道路貫通部



写真 1b 港に近い末端部の拡大図



写真 1 ガルバオ洞窟の受付にある写真パネル

街中にあるホテルの人は、カルバオ洞窟まで歩いて 10 分と言っていた。地図を見てそんなはずはないと思っていたのだが、やはり洞窟の一部はすぐホテルの近くの地下を貫通していた。勿論入口はそこにはな